

年 間 授 業 計 画

科 目 名		総合実践		単 位 数	2 単 位	学年・学科		3 学年 全学科		必修 ・ 選択	
教科書名						副教材名		Web で学ぶ総合実践演習			
科 目 の 目 標		商業の各分野に関する知識と技術を実践的活動を通して総合的に習得させビジネスの諸活動を主体的、合理的に行う能力と態度を身に付ける。									
学習内容と進め方		前期：同時同業取引演習 後期：模擬実践取引演習									
学 習 の 留 意 点		1. 会社の設立から取引例題による記帳、入力。特に取引の流れに関する帳票のやりとりを把握する。 2. 模擬実践をとおして仕入れから販売に至るまでの活動内容を理解する。 3. 記帳の（入力）元帳・補助簿・伝票との関係を実践的に把握する。 4. 接遇マナーについて実践的に身に付ける。（挨拶・言葉遣い・電話での応対等）									
月	単 元	予定 時数	具体的な学習内容	評価の観点			備考（評価項目）				
				1	2	3					
4	1. オリエンテーション 2. 開業準備 3. 第1章 同時同業取引演習 開業「営業開始」	2	・オリエンテーション・開業準備			○	・教員の説明や指示に対して、真剣な態度で取り組むことができる。 ・総合実践の授業を受けるにあたり、学習目標に沿った心構えと姿勢で取り組むことができる。 ○ ・DVDの内容を見てメモをとり、まとめることができる。 ・ビジネスにおける基本的なマナーやスキルを身に付けている。 ・説明された内容を理解し、資料にきれい丁寧に記入することができる。 ・模擬取引を実施する際の準備と心構えができています。 ・会社設立に関わる業務について基礎的・基本的内容を理解することができる。 ・商品売買における取引の基本手続きを理解することができる。 ・一連の取引に関する書類を正しく作成することができる。 ○ ・DVDの内容を見てメモをとり、まとめることができる。 ・応対の基本である挨拶や態度、話し方などについて身に付ける。 ・来客への接し方、接客の応対における留意点について理解する。 ・給料、運送費の算出方法や支払いまでの流れを理解して取り組んでいる。 ・決算における一連の流れについて基礎的・基本的な業務を遂行できる。 ・決算手続きの必要性および全体の流れについて理解し、模擬取引例を用いて記帳のしかたに習熟する。 ・損益分岐点のグラフを作成ができる、そのグラフの内容を理解することができる。 ・習得してきた知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫することができる。 ・各自が作成した決算報告書を責任を持って適切に報告することができる。 ・決算報告を通して、正確な帳簿作成とその意義について理解している。				
1		・マナーDVD									
		2	・取引の流れ・消費税について	○							
		2	・会社設立・当座開設、営業開始	○							
5			1	・商品売買	○						
		2	・代金回収	○							
6			1	・売れる店DVD				○			
			1	・給与、運送費の支払い	○						
7			1	・決算準備	○						
			3	・決算	○						
8	4. 第2章 模擬実践取引演習 「営業開始」	2	・損益分析		○						
		4	・まとめ、前期報告書作成		○						
9		1	・人事異動			○					
		1	・オリエンテーション・開業準備								
		2	・会社設立・当座開設、営業開始	○							
10		1	・商品売買	○							
		2	・代金回収	○							
		3	・給与、運送費の支払い	○							
11			5	・自由取引		○					
12			6	・決算準備、決算	○						
1	(家庭学習期間)	2	・損益分析		○						
2		1	・DVD「新入社員の報連相」		○						
3		1	・まとめ、後期報告書作成		○						
評価方法		(1) 下記規準に基づき観点別評価とする。 (2) 定期考査に基づく評価、職業人としての意識および日常の実践状況からの評価を実施する。 (3) 報告書や提出書類、営業日誌、検印状況は評価材料とする。									
評価の観点	観点	趣旨									
	1. 知識・技能	・各帳票、営業日誌等の書類を期日内に正確、迅速、丁寧に作成できるか。 ・コンピュータが適切に操作できるか。 ・ビジネス電話応対、来客応対、接客応対を身につけているか。 ・前期中間考査・前期末考査、後期中間考査から、学習内容を理解し、社会人としての基礎的な素養を身につけているか。									
	2. 思考・判断・表現	・学習内容を理解し仕事で円滑に行われること、また、結果を踏まえた経営分析力が身についているか。自社発展のために創意工夫する姿勢があるか。 ・他社との取引を通じコミュニケーション力を育成する姿勢があるか。									
	3. 主体的に学習に取り組む態度	・毎時間の授業態度や、言葉遣い、挨拶などへの取り組み、興味を持ち意欲的に参加する姿勢があるか。 ・日常の営業報告の提出や仕事の進捗状況など、担当教師への連絡や相談する力が身についているか。									
評価基準	1. 知識・技能	Aビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの諸活動に活用できる知識と技術について理解している。 Bビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの諸活動に活用できる知識と技術について概ね理解している。 Cビジネスに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの諸活動に活用できる知識と技術について理解していない。									
	2. 思考・判断・表現	A基礎的・基本的な知識と技術を基に、実践的・体験的な学習として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 B基礎的・基本的な知識と技術を基に、実践的・体験的な学習として適切に判断し、表現する創造的な能力を概ね身に付けている。 C基礎的・基本的な知識と技術を基に、実践的・体験的な学習として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けていない。									

	3. 主体的に学習に取り組む態度	Aビジネスについて関心を持ち、主体的に取り組もうとするとともに、ビジネスの諸活動を合理的に行う能力と態度を身に付けている。 Bビジネスについて関心を持ち、主体的に取り組もうとするとともに、ビジネスの諸活動を合理的に行う能力と態度を概ね身に付けている。 Cビジネスについて関心を持ち、主体的に取り組もうとするとともに、ビジネスの諸活動を合理的に行う能力と態度を身に付けていない。
--	------------------	--